

【プロジェクト概要】

所属:長谷部葉子研究会ニューヨークプロジェクト

渡航期間:2014 年 11 月 2 日~2014 年 11 月 8 日

渡航人数:学部生 9 人

目的:Global Partners Junior(以下 GPJ)本部への訪問およびニューヨーク市内における GPJ 実施校の見学と日本文化紹介を交えたワークショップ

【スケジュール】

11 月 2 日(日本時間)日本出発 / 11 月 2 日(現地時間)ニューヨーク到着

11 月 3 日 NPO 法人 New York City Global Partners 本部訪問

Middle school 322 訪問

11 月 4 日大竹優志様、村井裕実子様と面会

11 月 5 日コロンビア大学訪問

Saratoga Village Community Center 訪問

11 月 6 日 Manhattan Country School 訪問

11 月 7 日(現地時間)ニューヨーク出発 / 11 月 8 日(日本時間)日本到着

【活動の様子と成果】

11 月 3 日



NPO 法人 New York City Global Partners 本部にて担当者 Travis Hardy 様と面会、姉妹都市である東京での活動報告を行い、今後の GPJ カリキュラムの方向性に関して話しあった。日本での活動の成果物や、日本の中学生からのビデオメッセージをお見せし、日本でどのようにプログラムが行われているかを説明した。



午後には GPJ のカリキュラム実施校である Middle School 322: Renaissance Leadership Academy 訪問。日本文化を紹介するワークショップを行った。また、GPJ のアクティビティを実施している現場見学を通し、カリキュラムが生徒たちに深く根付いていることを実感した。

11月4日

ニューヨークに留学中の慶應義塾高等学校英語科教員、大竹優志様(写真中央左)と面会。更にSFC 卒業生で現在コロンビア大学に通われる村井(ゆみこ)様(写真中央右)からも貴重な話を伺うことができ、実際にコロンビア大学に通う学生の気概に触れることができた。



11月5日

コロンビア大学にて Teachers College を見学。全米最古かつ最大の教育学大学院だということを鑑み、世界の教育を牽引する現場を実際に見学することができた。学生のモチベーションの高さにも驚き、刺激を受けた。



午後には Saratoga Village Community Center が運営している After school に訪問した。そこではリサイクルをテーマとした独自のプログラムをメインに行っており、GPJ 実施校ではあるものの、指定されたカリキュラムとはまた違った形で活動していたのが印象的だった。異なったカリキュラムの運営方法を知り、新たな視点でプログラムを見直すことができた。

11月6日

私立 Manhattan Country School 校長である Michelle Sola 様に運営理念を伺い、学校内を案内して頂いた。授業料を収入によるスライド制にすることで、階層や人種に関わらず、全員が平等に発言権を持ち、教育を受ける権利を確立出来るようにしていた。そこでは



Pre-kindergarten から Grade8 までの生徒が学ぶ様子を身近で見学できた。所有されている農場での実習など、独自のプログラムが光る、未来の学校のあり方を考えさせられる学校だった。